

放射性医薬品投与後の超音波検査における従事者の被ばくについて

・はじめに

放射線を使用しない超音波検査に従事する診療放射線技師装着のガラスバッジより、被ばく線量が検出されました。原因として超音波検査前に投与された放射性医薬品からの影響が考えられたため、放射性医薬品核種、投与量と超音波検査に従事する診療放射線技師の被ばく線量の関係を求めます。また、放射線防護衣や鉛板等による防護方法を検討し、その効果を調べます。

・対象

2010年4月1日から2012年3月31日までの間に超音波検査前に放射性医薬品の投与を行った超音波検査921症例について調査を行います。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。

・研究内容

対象期間に放射線医薬品投与後に超音波検査を行った症例について調査をおこないます。被ばくの原因と考えられる放射性同位元素を用いて、鉛による遮蔽効果、放射線防護衣による遮蔽効果をサーベイメータを用いて線量の測定をおこないます。

・個人情報の管理について

個人情報漏洩を防ぐため、九州大学病院医療技術部放射線部門においては、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

・研究期間

研究を行う期間は承認日より平成27年3月31日まで

・医学上の貢献

本研究により患者さんが直接受けることができる利益はありませんが、将来、超音波検査に従事する検査士の被ばく低減に貢献できる可能性が高いと考えます。

・研究機関

九州大学病院医療技術部

医療技術部部長 大屋信義(責任者)

診療放射線技師 梅津芳幸

診療放射線技師 齋藤高志

診療放射線技師 小宮勲

診療放射線技師 小林幸次

診療放射線技師 木下絵美

診療放射線技師 千住竜之

診療放射線技師 鳥羽涼子

診療放射線技師 木村知子

診療放射線技師 溝口範子

連絡先：〒812-8582

福岡市東区馬出 3-1-1

Tel : 092-642-5791

担当：木下絵美